

第1号議案 令和5年度事業報告

特定非営利活動法人近畿 HACCP 実践研究会

I 事業期間

令和5年7月1日～令和6年6月30日

II 事業の成果

新型コロナウイルス災禍が収束したことを受け、対面形式の研修活動やセミナーの活動を令和2年度実績相当に再開できました。具体的には HACCP 管理者養成講座や定期交流研修セミナーを開催。また、広報・広告活動の一環としては、会員及び研修受講者などへ HTML 形式でメールマガジンを発行、購読者数は550名となり食品衛生関連の情報を広く提供した他、ホームページを更新して食品衛生関連の情報提供をより確実にすることができました。

本年度も前年度と同じく、その他の事業は実施しませんでした。

III 事業の実施状況

1 特定非営利活動に係る事業

① セミナーなどの開催

◎ HACCP 管理者養成研修（3日間）講座

（内 容）対面形式による改正食品衛生法準拠の食品衛生管理計画書作成研修

（実施日時）令和6年2月29日～3月1日・令和6年4月26日

（事業の対象者）食品等事業者 参加者数4名

（収益）186,000円

◎ HACCP 管理者養成研修（3日間）講座

（内 容）対面形式による改正食品衛生法準拠の食品衛生管理計画書作成研修

（実施日時）令和6年6月27日～6月28日・令和6年8月27日予定

（事業の対象者）食品等事業者 参加者数6名

（収益）295,500円

◎ 総会記念講演

(内 容) 戸ヶ崎理事：食品微生物のよもやま話

井上理事：避けて通れない食品衛生管理の DX 化の実例と今後の見通し

(実施日時) 令和 5 年 8 月 30 日

(事業の対象者) 会員・食品等事業者 参加者数 40 名

(収益)6,000 円

◎ 定期交流研修会セミナー 1

(内 容) 多方面から食品業界の理解を深める

井上理事：HACCP のつまずき 手順書と記録はここまで簡素化できる

河理事：知らなかったでは済まされない食品関連の法令

菊井理事：百貨店と納品業者の取り決めの実際

山森純子（スーパーストック東京）：リテール現場での衛生管理のコツ

足立成明（モンドセレクション総代理）モンドセレクションへのアプローチと衛生管理

(実施日時) 令和 6 年 2 月 7 日

(事業の対象者) 食品等事業者 参加者数 35 名

(収益)12,000 円

◎ 定期交流研修会セミナー 2

(内 容) 製造現場の衛生管理手法を学ぶ

山内裕成（元日本細菌検査）：八戸市吉田屋の事故などから見える最近の食中毒の特徴と事故処理コストについて

亀田監事：建設会社が JFS-B 規格適合認定取得のコンサルをしてみてわかったこと

小原裕孝（三浦工業）：食品製造設備の衛生管理手順と最新の製造設備の特徴

高橋誠（日本総合科学）：外部委託の検査機関から観た HACCP の現状

衣川いずみ（QA テクノサポート）：食品安全に必要なサプライヤー管理

(実施日時) 令和 6 年 3 月 27 日

(事業の対象者) 食品等事業者 参加者数 37 名

(収益)24,000 円

◎ 定期交流研修会セミナー 3

(内 容) 製造現場の実践事例から学ぶ

小島一恵 (フジパンストア) : ベーカリーでの HACCP 導入その後

櫛友彦 (ライフコーポレーション) : スーパーマーケットライフの HACCP 戦略

大西基裕 (AKR 共栄会) : 公設市場を起源とする小規模スーパーの HACCP 適合認定と課題

湊川理事 : 異物混入防止「取るミング」の導入事例で衛生管理の変化をみる

濱口洋平 (合同食品) : HACCP 導入前と導入後の変化・課題と合同食品が目指すもの

理事一同 : 法改正で苦境に立たされた秋田県のいぶりがっこ道の駅の漬物セッション

(実施日時) 令和 6 年 5 月 15 日

(事業の対象者) 食品等事業者 参加者数 40 名

(収益)21,000 円

② HACCP に役立つ会報、インターネット等の情報発信

(内 容) 近畿 HACCP 実践研究会公式メルマガ HACCP NEWS

(実施日時) 毎月 15 日に定期発行 12 回及び適宜、臨時発行

(事業の対象者) 会員及び講演・研修受講者 536 名

(内 容) 近畿 HACCP 実践研究会ホームページ刷新

(実施日時) 不定期・用事毎

(事業の対象者) 会員及び食品等事業者

③ 保健、医療及び福祉に役立つ展示会への参加

なし

④ HACCP に係わる調査研究及び成果の公表

(内容)

・戸ヶ崎理事 : 最近の腸管出血性大腸菌による食中毒の傾向と対策 月刊 HACCP 令和 5 年 10 月号

・戸ヶ崎理事 : ノロウイルス感染対策と食品取り扱い者の教育・訓練 月刊 HACCP 令和 6 年 4 月号

・馬場理事 : ノロウイルス食中毒予防に効果を発揮する「炭酸次亜水」の活用方法 月刊 HACCP 令和 6 年 4 月号

・戸ヶ崎理事 : 【改訂版】よくわかる HACCP 入門 PHP 通信教育ゼミ 令和 5 年 11 月

(事業の対象者) 一般及び食品等事業者

- ・ 定期交流研修会セミナー 2 の詳細記事 月刊 HACCP 令和 6 年 5 月号で掲載
- ・ 定期交流研修会セミナー 3 の詳細記事 月刊 HACCP 令和 6 年 7 月号で掲載

④ HACCP に関する海外との交流

なし

令和5年度活動計算書

令和5年7月1日～令和6年6月30日まで
 特定非営利活動近畿HACCP実践研究会
 (単位円)

科目		決算額			
収入	I 会費	1) 賛助会員	180,000	小計	504,000
		2) 団体会員	240,000		
		3) 個人会員	84,000		
	II 事業収入	1) セミナー・講座	367,000	小計	666,925
		2) 特別セミナー	6,000		
		3) 監修・テキスト販売	293,925		
		4) オンラインセミナー	0		
	III 雑収入	1) 利息	11	小計	11
		2) その他	0		
	当期収入合計				
支出	<事業費>				
	2 その他経費	1) 消耗品費	3,222	小計	136,077
		2) 外部講師料	102,000		
		3) 雑費	30,855		
	<管理費>				
	1 人件費	1) 作業費	348,500	小計	348,500
	2 その他経費	1) 会議費	101,362	小計	628,028
		2) 旅費交通費	98,450		
		3) 通信費	148,750		
		4) 支払手数料	10,890		
		5) 雑費	268,576		
	当期支出合計				1,112,605
	当期収支差額				58,331
	前期繰越残高				994,591
	次期繰越収支差額				1,052,922

上記の収支決算について監査しましたところ、相違ない事を確認いたしました

令和6年7月9日

監事 亀田 華菜恵 印



重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

令和5年度貸借対照表						
特定非営利活動法人 近畿HACCP実践研究会						
令和6年6月30日現在						
(単位:円)						
科目	金額					
I 資産の部						
1	流動資産		1,052,922			
	現預金					
	流動資産合計			1,052,922		
2	固定資産		0			
	固定資産合計			0		
	資産合計					1,052,922
II 負債の部						
1	流動負債					
	未払金（租税以外）		0			
	未払税（法人税以外）		0			
	法人税		0			
	流動負債合計			0		
2	固定負債		0			
	固定負債合計			0		
	負債合計					0
III 正味財産の部						
1	前期繰越正味財産			994,591		
2	当期正味財産増減額			58,331		
	正味財産合計			1,052,922		
	負債及び正味財産合計					1,052,922
当該事業年度においてその他の事業実施はなし						